

王道経営推進協議会

2025 年度活動報告書

(2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日まで)



一般社団法人

王道経営推進協議会

Oudou Keiei Association

目次

1. 会長（代表理事）ご挨拶	P.02
2. 名称変更について	P.04
3. 王道経営について	P.04
・ 「王道経営」とは	
・ 王道経営推進協議会 会員使命 ～会員として務めるべきこと～	
・ OKA 団体概要	
4. 事業の概況について	P.06
・ 2025年のテーマと活動	
・ 2025年度の業績概況	
5. 2025年度 決算報告	P.08
・ 2025年度 貸借対照表	
・ 2025年度 正味財産増減計算書	
・ 財務諸表に関する注記	
6. 「本質道場」について	P.12
7. 委員会活動 会員による「王道経営」の実践	P.14
・ 数字で見るOKAの実践活動	
・ 100年企業研究委員会	
・ 途上国支援委員会	
・ 地域活性化委員会	
・ 教育支援委員会	
・ 会員交流委員会	
8. U25会員・若者向け活動	P.22
9. 2026年のテーマ	P.24

1. 会長(代表理事)ご挨拶

『失われた 30 年』という言葉に象徴される通り、「日本経済全体が長きにわたり低迷している」という認識が通説になっています。しかし、本当にそうでしょうか。確かに、消えていった会社、業績が伸び悩んでいる会社はたくさんあります。一方で、大きく成長を遂げ、社員はもちろん、顧客、株主、取引先、地域等、関わる全ての人を幸せにしている企業もたくさん存在するのです。

この違いはどこにあるのでしょうか。私は「王道経営」を実践しているか、そうでないかの違いでしかないと考えています。すなわち、この 30 年間で王道の経営ができていない会社が増えているということです。

自分の会社が上手くいかないことを、時代や国のせいにしても意味がありません。それよりも、「自分が会社を変えるんだ!」「自分が時代を変えるんだ!」「自分が国を変えるんだ!」という当事者意識や挑戦する姿勢を持ち、まずは自分の会社、自分の事業に向き合うことが、経営者としてやるべきことではないでしょうか。私は、そのための唯一の方法が「王道経営」だと考えています。

「王道経営」と聞くと、特別なことのように思うかもしれませんが、しかし、そうではありません。どんなに時代が変わっても、変わらずに押さえなければならない経営の要諦にきちんと向き合い、正しく判断・対応するという、むしろ基本であり、大原則なのです。

近年、AI を始めとする情報技術の進歩、あらゆるコストの高騰、人手不足、頻発する自然災害等、経営者が対応すべき外部環境の変化が加速しています。経営者の皆さんは、会社の先頭に立ち、こうした変化対応に奮闘されていることと思います。

しかし、変化することばかりに意識が向いてしまい、迷子になってはいませんか。いわゆるバブル期には、不動産業でもないの土地や建物で儲けようとして、多くの会社が痛い目にあいました。企業の変化対応は必要不可欠なことです、経営の柱となる会社の「在り方」まで変えたり、忘れたりしてはいけません。

迷子となるのは、「どこを目指しているのか」「何のため、誰のためにそれをするのか」という、本質的なことを見失ってしまっているからです。経営者は、変わっていくことばかりに目を向けるのではなく、まずは自分が何者なのか、どこからどこに向かっているのか、常に振り返り、軌道修正できる習慣をつけなければなりません。

そのため、王道経営推進協議会(Oudou Keiei Association)」では、経営者が「王道経営」を実践する上で不可欠となる、物事の「本質」を正しく捉える力を養うための場づくりを行っています。これは、私が半世紀近い経営者人生の中で学んできたこと、実践してきたことを振り返り、整理し、カリキュラム化したものです。

この取り組みを1人でも多くの経営者にお伝えすることで、「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」ことにつながり、日本や世界を明るくする一助になれると信じています。

また、将来的には「王道経営」実践企業が力を合わせ、新しい社会貢献の仕組みづくりにも挑戦していきたいと考えています。

この趣旨に賛同していただける経営者の皆様、ぜひ本協議会にご参加いただき、一緒に強く、正しい「王道経営」の在り方を探究していきましょう。ご協力、よろしくお願いいたします。

以上



会長（代表理事） **大久保秀夫**

2. 名称変更について

本会は、2026年2月1日をもって、「一般社団法人公益資本主義推進協議会」から「一般社団法人王道経営推進協議会」へと名称変更いたしました。2014年の創設以来使用してきた名称ですが、2025年10月22日に開催した臨時社員総会にて、変更することが決議されました。

「公益資本主義」という言葉が意味する範囲が広く、現会の中心的活動である「王道経営」の学び・実践とギャップが生じているため、実態に合った名称とするべきだと判断した次第です。名称は変更しましたが、幅広い活動の中から集中すべきものを議論していく計画ですが、会の理念や活動の本質は変わりません。

新生「一般社団法人王道経営推進協議会」では、経営者が「王道経営」を実践する上で不可欠となる、物事の「本質」を正しく捉える力を養うための場、「本質道場」で学び、実践し、伝えることを活動の中心にして取り組んでまいります。

3. 王道経営について

私たちは、「王道経営」の実践を通して、社員から、お客様から、そのご家族から、取引先から、地域から、「ありがとう」「あなたと出会えて良かった」と言われる存在となることを目指しています。

「王道経営」とは

社員とその家族・顧客・株主・取引先・地域社会・地球と共に歩み、社会価値創出の実践を通して、社中全体に幸せを分配する経営の在り方である。

そのため

経営の「本質」にど真剣に向き合い、学び、努力し続ける。
会社の正しい「在り方」を定め、心をベースに経営を行う。
常に「改良・改善・改革」に挑戦し、本業で社会に貢献する。
「世界・未来」に目を向け、会社の成長・永続に邁進する。

王道経営推進協議会 会員使命 ～会員として務めるべきこと～

王道経営推進協議会 会員は、「王道経営」を学び、実践し、伝え、地球益に貢献することを使命とする。

「学ぶ」とは、学び・考え・実行するが三拍子揃うことである。

「実践」とは、社中に幸せを分配することができていることである。

「伝える」とは、次の世代を育てることである。

そのために必要なのは、本質的な問いを探究し続けること。

答えは外ではなく、自分の内側にしかない。

ただし、独りでできることには限界がある。

同じ志の仲間と協力し、我々の可能性を高めることに挑戦する。

OKA 団体概要

名称： 一般社団法人王道経営推進協議会

※ 2026年2月1日に「一般社団法人公益資本主義推進協議会」から名称変更

設立： 2014年（平成26年）1月27日

所在地： 東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号

目的等： 諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けての活動

会員数： 147名（2025年12月末、正会員119社、U25会員21名、準会員6名、特別会員1名） ※失効や休会は除いています

支部等： 福島グループ／東京グループ／愛知グループ／広島グループ／福岡グループ／西日本広域グループ

役員： 会長（代表理事） 大久保 秀夫

副会長（理事） 田中 勇一

理事 北見 俊則

理事 大塚 雅之

理事 飯田 剛也

理事 廣兼 一昭

監事 佐藤 栄作

相談役 林 英臣

相談役 寺田 耕治

4. 事業の概況について

2025年のテーマと活動

当協議会は、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向け、福島・東京・愛知・広島・福岡・西日本広域に設立している地域グループを中心に、「100年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の5つの委員会が立ち上げられ、王道経営を学び、それを実践するための具体的活動に取り組んでいます。

2025年度も引き続き「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」を最上位目的に掲げ、①「本質道場」参加者の熱を会全体に広げていく、②師範候補を中心に、「本質道場」を広げるための場・仕組みづくり、③そのために最適な組織・会員制度・情報伝達手段への移行という3点を中心に取り組んできました。

このため、2024年度からスタートした「本質道場」のセカンドステージに挑戦しました。初年度は大久保会長が講師を務めましたが、今年度は道場で学んだ一期生の中から師範/師範補を任命し、二期生向けの講義を行いました。また、そのために必要な教科書づくりにも取り組み、今後、大久保会長に代わり「本質道場」を広げていくためのベースづくりを進めています。当初、教える立場となる一期生からは、ハードルの高い取り組みであるという意見もありましたが、一期生が団結して協力した結果、二期生からも高い満足度を得られる道場を運営できるようになっています。

「本質道場」は、これまでの勉強会のように一方的に教わるのではなく、自分や会社のHow to be = 「在り方」について考え、自分の中から、自分自身の答えを見出していくための場として、他にはない当会だけの取り組みとして、差別化していくことを目指します。

なお、2014年の創設以来使用してきた「一般社団法人公益資本主義推進協議会（PICC）」を「一般社団法人王道経営推進協議会（略称：OKA Oudou Keiei Association）」へ名称変更することが、2025年10月22日の臨時社員総会で決議されました。2026年2月1日からは新名称での活動もスタートしており、名称と実態が一致して、より会の活動が活性化していくことが期待されます。

会員数については大きな変動はなく、有効な正会員数は年初の120社から119社（失効や休会を含めると144社）となっています。今後は「本質道場」を学ぶだけのフェーズから、実践し、外部向けにも伝えるフェーズへと移行することで、新規会員の獲得にも取り組んでまいります。なお、U25会員はマイコミュニティフォーラムが各地で実施されていた時に入会していた大学生が25歳となり、順次卒業を迎えており、トータルで21名となっています。また、U25会員卒業から準会員へと移行している会員は、トータルで6名となりました。

2025年度の業績概況

このような活動を行った結果、2025年度の業績は次の通りとなりました。

経常収益は前期に比べ16万円増加し、1,434万円。主な収益は、正会員を対象としている月会費（1万円/月）であり、全会員が月会費に移行したことが収益増加の主な要因となります。

経常費用については、前期に比べ管理費を中心として58万円減少し、経常増減額は202万円の利益となりました（前期は127万円の利益）。会費の一部は、各地域グループが自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していくための活動費として活用されています。また本部においても、会員や会計を管理するためのシステム整備・運用、PRやイベント開催等の財源としています。本年度はあまり費用のかからない「本質道場」中心の活動だったこと、また全国大会も低コストで実施したため、特に管理費の支出が抑えられました。

5. 2025年度 決算報告

貸借対照表			
2025年12月31日現在			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	33,778,789	31,632,047	2,146,742
小口(福岡)	0	13,968	-13,968
小口(福島)	0	54,679	-54,679
普通預金(本部)	18,812,752	24,631,065	-5,818,313
ネット預金(本部)	4,212,843	49,012	4,163,831
普通預金(東京)	724,281	1,891,172	-1,166,891
普通預金(愛知)	1,914,008	1,911,697	2,311
普通(福岡支部)	0	2,570,448	-2,570,448
愛知支部マイコ	0	47,953	-47,953
普通預金(福島)	0	462,053	-462,053
ネット預金(東京)	2,517,631	0	2,517,631
ネット預金(福島)	437,900	0	437,900
ネット預金(愛知)	687,449	0	687,449
ネット預金(広島)	805,691	0	805,691
ネット預金(福岡)	3,035,811	0	3,035,811
ネット預金(西日本)	630,423	0	630,423
前払金	33,000	33,000	0
貯蔵品	18,000	18,000	0
前払費用	218,560	218,560	0
流動資産合計	34,048,349	31,901,607	2,146,742
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	270,742	346,297	-75,555
その他固定資産合計	270,742	346,297	-75,555
固定資産合計	270,742	346,297	-75,555
資産合計	34,319,091	32,247,904	2,071,187
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	269,435	154,604	114,831
預り金	18,378	18,378	0
流動負債合計	287,813	172,982	114,831
負債合計	287,813	172,982	114,831
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	34,031,278	32,074,922	1,956,356
正味財産合計	34,031,278	32,074,922	1,956,356
負債及び正味財産合計	34,319,091	32,247,904	2,071,187

正味財産増減計算書

2025年 1月 1日から2025年12月31日まで

(単位: 円)

科 目	本部		支部		合計	
	当年度	前年比	当年度	前年比	当年度	前年比
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	16,000	-33,000	0	0	16,000	-33,000
正会員入会金	10,000	-30,000	0	0	10,000	-30,000
U25入会金	6,000	-3,000	0	0	6,000	-3,000
受取会費	13,847,000	2,207,000	0	0	13,847,000	2,207,000
正会員月会費	13,775,000	2,215,000	0	0	13,775,000	2,215,000
準会員年会費	72,000	-8,000	0	0	72,000	-8,000
内部振替支部活動費収入	-4,504,517	-1,653,317	4,504,517	1,653,317	0	0
内部振替支部活動費収入	-4,504,517	-1,653,317	4,504,517	1,653,317	0	0
事業収益	181,000	-808,000	122,000	-1,114,811	303,000	-1,922,811
講演会等研修収益	0	0	98,000	-182,500	98,000	-182,500
イベント収益	181,000	-808,000	24,000	-932,311	205,000	-1,740,311
雑収益	164,513	-103,203	13,975	13,379	178,488	-89,824
受取利息	32,513	30,797	13,975	13,379	46,488	44,176
雑収益	132,000	-134,000	0	0	132,000	-134,000
経常収益計	9,703,996	-390,520	4,640,492	551,885	14,344,488	161,365
(2) 経常費用						
事業費	4,564,455	425,682	3,958,103	216,908	8,522,558	642,590
諸謝金	382,400	-281,200	90,000	90,000	472,400	-191,200
旅費交通費	825,977	351,618	806,218	626,218	1,632,195	977,836
什器備品費	0	0	0	-218,230	0	-218,230
消耗品費	238,552	109,618	7,029	-34,405	245,581	75,213
通信運搬具	91,006	-70,119	5,440	-33,015	96,446	-103,134
システム管理費	652,262	-10,714	30,000	30,000	682,262	19,286
渉外費	0	0	0	-24,800	0	-24,800
会議費	108,868	-62,939	37,800	-94,200	146,668	-157,139
広報費	228,228	228,228	222,996	-226,284	451,224	1,944
会場費	1,512,690	57,480	895,327	-214,732	2,408,017	-157,252
開催費	76,308	76,308	490,620	-530,341	566,928	-454,033
支払手数料	448,164	27,402	21,171	13,985	469,335	41,387
支払保険料	0	0	0	-20,850	0	-20,850
業務委託費	0	0	480,000	0	480,000	0
研修費	0	0	346,500	346,500	346,500	346,500
支払寄附金	0	0	525,002	510,538	525,002	510,538
雑費	0	0	0	-3,476	0	-3,476
管理費	3,795,304	-1,232,361	0	0	3,795,304	-1,232,361
支払報酬	143,000	88,000	0	0	143,000	88,000
諸謝金	27,500	-12,500	0	0	27,500	-12,500
旅費交通費	0	-192,563	0	0	0	-192,563
減価償却費	75,555	44,074	0	0	75,555	44,074
消耗品費	173,232	91,741	0	0	173,232	91,741
賃借料	35,640	-22,110	0	0	35,640	-22,110
通信運搬具	2,970	2,970	0	0	2,970	2,970
システム管理費	947,980	26,620	0	0	947,980	26,620
渉外費	100,000	0	0	0	100,000	0
会議費	28,026	-219,944	0	0	28,026	-219,944
広報費	702,294	-1,465,706	0	0	702,294	-1,465,706
会場費	1,118,590	443,290	0	0	1,118,590	443,290
支払手数料	9,427	-6,303	0	0	9,427	-6,303
租税公課	35,090	-9,930	0	0	35,090	-9,930
顧問料	396,000	0	0	0	396,000	0
経常費用計	8,359,759	-806,679	3,958,103	216,908	12,317,862	-589,771
評価損益等調整前当期経常増減額	1,344,237	416,159	682,389	334,977	2,026,626	751,136
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,344,237	416,159	682,389	334,977	2,026,626	751,136
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
国庫補助金等受増益	0	-722,222	0	0	0	-722,222
経常外収益計	0	-722,222	0	0	0	-722,222
(2) 経常外費用						
固定資産圧縮損	0	-722,222	0	0	0	-722,222
経常外費用計	0	-722,222	0	0	0	-722,222
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,344,237	416,159	682,389	334,977	2,026,626	751,136
法人税	70,000	0	270	270	70,270	270
当期一般正味財産増減額	1,274,237	416,159	682,119	334,707	1,956,356	750,866
一般正味財産期首残高	21,575,903	858,078	10,499,019	347,412	32,074,922	1,205,490
一般正味財産期末残高	22,850,140	1,274,237	11,181,138	682,119	34,031,278	1,956,356
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	22,850,140	1,274,237	11,181,138	682,119	34,031,278	1,956,356

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

公益法人会計を採用しております。

(1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

棚卸資産はございません。

(2) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産は定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

引当金はございません。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっております。

2. 特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳

特定資産はございません。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	377,778	107,036	270,742

無形固定資産（ソフトウェア）の取得価額から控除している圧縮記帳額は 722,222 円です。

4. 実施事業等会計にかかわる資産

実施事業等会計にかかわる資産はございません。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高はございません。

6. 重要な後発事象

(商号の変更)

当社は、2025年10月22日開催の臨時社員総会において、2026年2月1日付で商号変更が決議され、「一般社団法人公益資本主義推進協議会」は、2026年2月1日をもって「一般社団法人王道経営推進協議会」へ商号を変更いたしました。

付属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表の注記に関する記載のとおりです。
2. 引当金の明細
財務諸表の注記に関する記載のとおりです。

6. 「本質道場」について

2024年度以来、本会の最上位目的として「本質を追求し、ぶれない強い経営者となる」を掲げ、そのための活動の柱として、「本質道場」をスタートしています。

「本質道場」とは、経営の根幹となる本質を徹底的に探求する場です。単なる勉強会ではありません。志ある経営者が集まり、対話と思索、実践を重ねながら、自分だけの答えを見出していきます。



「本質道場」で探求するのは、経営のテクニックではありません。経営者として必要な本質的な問いです。様々な角度から本質を問い続けることで、揺るがない経営の軸が生まれます。

また、聞いて終わりの勉強会ではありません。課題、ディスカッション、レポートを通じて、徹底的に考え抜きます。「できる」に変えるため、自分の答えを自分で見出していきます。

「本質道場」は、本気で会社を変えたいと願う経営者が集まる場です。異なる視点や価値観を持つ仲間と考えや実践の結果をぶつけ合うことで、自分だけでは辿り着けない答えに近づけます。

「王道経営」の在り方は、一度の講義で身につくものではありません。自ら考え、仲間と議論し、自分の言葉でまとめ、経営の現場で実践する。そしてその結果をまた持ち寄り、問い直す。この繰り返しがあるからこそ、学びは血肉となります。



「本質道場」のベースとなっているのは、会長の久保が参加した経営塾での学びです。京セラの稲盛和夫氏、ソニーの盛田昭夫氏が若手経営者を集め、交替で教えて

いました。そこで学んだのは、経営のやり方ではありませんでした。「経営者とは？」「社員に対する真の愛情とは？」等、経営者として向き合うべき本質的なテーマについて本気で考え、自分自身の答えを見つけることを求められたそうです。お二人の偉大な経営者から教わったこと、気づかされたことを継承し、本会を起点に社会へ、次世代へと広げ、「いい会社」を増やしていくことを目指します。

【「本質道場」関連勉強会の開催実績】

2025/1/18	西日本	本質勉強会
2025/1/20	広島	定例会・本質勉強会
2025/1/20	西日本	大久保会長 大阪訪問会
2025/1/27	西日本	本質勉強会「本質道場の本質とは」「自社で取り組んでいること」
2025/1/31	愛知	大久保会長 愛知訪問会
2025/1/31	愛知	大久保会長 名古屋訪問会
2025/2/10	広島	大久保会長 広島訪問会
2025/2/18	本部	本質道場（第6回）「経営12カ条 経営者として貫くべきこと」
2025/2/28	福島	定例会・2024年の本質勉強会の振り返り
2025/3/18	本部	PICC社員総会・「本質道場」師範候補選考会
2025/3/27	東京	大久保会長 東京交流会
2025/4/15	本部	本質道場 伝導編・学びの部（第1回）
2025/4/23	広島	定例会・本質勉強会
2025/5/22	本部	本質道場 実践の部①-1「在り方編」（講師：飯田剛也 西日本統括師範）
2025/5/26	福岡	役員会・定例会 本質勉強会「在り方」編
2025/6/5	本部	本質道場 実践の部①-2「在り方編」（講師：飯田剛也 西日本統括師範）
2025/6/17	本部	本質道場 伝導編・学びの部（第2回）
2025/7/18	本部	本質道場 実践の部①-1「経営の心」（講師：大塚雅之 東日本統括師範）
2025/7/21	広島	定例会・本質勉強会
2025/7/26	福島	東日本合同定例会 本質道場体験会（講師：大塚雅之 東日本統括師範）
2025/7/31	本部	本質道場 実践の部①-2「経営の心」（講師：飯田剛也 西日本統括師範）
2025/8/19	本部	本質道場 伝導編・学びの部（第3回）
2025/9/9	福島	本質道場 振り返り会
2025/9/18	本部	本質道場 実践の部②「心を高める（前編）」（講師：谷川宏樹 師範）
2025/10/21	本部	本質道場 伝導編・学びの部（第4回）
2025/10/22	本部	臨時社員総会・全国大会
2025/11/7	本部	本質道場 実践の部③-1「心を高める（後編）」（講師：廣兼一昭 指導師範）
2025/12/4	本部	本質道場 実践の部③-2「心を高める（後編）」（講師：田中貴之 師範補）
2025/12/16	本部	本質道場 伝導編・学びの部（第5回）
2025/12/23	広島	定例会・本質勉強会

※上記の他、道場生同士で振り返り会や教科書づくり等、個別の活動も行っています

7. 委員会活動 会員による「王道経営」の実践

本会の各地域グループでは、「100年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の5つの委員会が立ち上げられ、さまざまな活動に取り組んでいます。

数字で見るOKAの実践活動

OKAでは全国の地域グループ・会員企業が、さまざまな活動に取り組んでいます。一つひとつの活動は小さいかもしれませんが、積み重ねることで将来的に世の中を変えるための一助につながっていくと信じております。2025年度、全国の地域グループやOKA全体で取り組んだ活動を集計し、数字でご紹介いたします。

100年企業研究

- ・企業訪問 2社
- ・コラム掲載 17回



出前授業

- ・開催校 19校
- ・人数 576名



MYCO フォーラム

- ・2都市 2回
- ・参加人数 675名



途上国支援

- ・ツアー 1回



地域活性

- ・イベント 7回



地域グループ活動

- ・定例会 6地域 50回
- ・勉強会 6地域 46回
- ・若者支援 3地域 10回

全国会議・勉強会

- ・責任者会議 10回
- ・本質道場/勉強会 51回



メディア掲載

- ・4媒体 52回



100年企業研究委員会

世界で最も多くの100年企業が存在する日本。これらの企業から経営の本質を学び、自らの経営に取り込むとともに、日本の経営の在り方を広く推奨していく委員会です。100年企業の視察や、メディアへのコラム提供などを行っています。

- 書物や講義を活用した研究
- 実際の100年企業への訪問
- 会員企業の100年ビジョンづくり



主な活動実績

実施日	地域	概要
2025/1/31	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」築野食品工業
2025/2/28	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」阿部産業
2025/3/6	愛知	ブラザー記念館訪問、SCI フォーラムとのコラボ
2025/4/25	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」サカワ
2025/6/2	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」ライオンケミカル
2025/6/27	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」ショーワグローブ
2025/7/7	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」萩原
2025/7/21	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」ハッシュ
2025/7/25	福島	東日本合同定例会 100年企業研修（荒川産業株式会社）
2025/8/4	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」かねまつ
2025/8/18	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」よーじやグループ
2025/9/5	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」ワールドサービス
2025/9/15	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」大塚実業
2025/10/6	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」ウエスト
2025/10/19	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」東洋食品
2025/11/3	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」日東社
2025/11/17	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」ワカ製作所
2025/12/1	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」高田製薬
2025/12/14	東京	100年企業研究委員会 日経MJ「老舗リブランディング」マドラス

途上国支援委員会

国の基本は教育です。経済や文化の領域で将来のパートナーとなる途上国に対して、教育や自立支援をサポートしています。教師団の派遣や幼小中高一貫校設立などに取り組む CIESF と連携し、途上国支援の在り方を学び、実践します。

- 途上国支援
- 途上国進出の検討／実施
- 留学生受け入れ
- 他の途上国支援団体の研究／協力
- CRM 手法の研究／実践



主な活動実績

実施日	地域	概要
2025/11/24	合同	カンボジア視察ツアー（JICLA 訪問、日系中小企業訪問、JAC 交流会）

地域活性化委員会

日本創生の原点となる地域振興。さまざまな分野から地域の活性化を研究・実践する委員会です。地域活性化に取り組む他団体との連携も含め、王道経営の考えを活かしながら各地域にマッチした地域活性化に挑戦しています。

- 地域課題や他地域における活性化事例の研究
- 地域活性化に取り組む団体との連携
- 地域活性化学会との連携
- 地域の学生／企業／自治体／学校等との連携
- 地域活性化のための企画／実行



主な活動実績

実施日	地域	概要
2025/3/25	愛知	PICC×東海学生アワード企画 “AMUSICLET Night”
2025/5/13	福島	定例会「挑戦と共感 -地域を変える NPO 起業家の挑戦-」 (講師：認定 NPO 法人DXP 今井紀明 氏)
2025/9/22	愛知	SCI フォーラム共催「教育から社会課題解決のイノベーションを興す」

2025/10/25	福島	ぼくらの音楽祭
2025/11/23	愛知	東海学生 AWARD
2025/12/14	愛知	東海学生アフター-AWARD
2025/12/22	愛知	SCI フォーラム共催「持続可能な地域・街づくりとは？」

教育支援委員会

子供は未来の財産です。学力の低下に加え、夢や希望が持てない日本の子ども達に経営者からの視点で教育を推進する委員会です。教育と子育ては地域ぐるみで行うことと考え、「出前授業」などの活動を積極的に展開しています。「働くとはどういうことか?」「社会における企業の役割」「志や目標を持つことの大切さ」等をテーマに、企業経営者が自身の経験や想いを直接伝えること



で、これから社会に出てゆく子供たちに働くことの意味や将来の夢を考えるきっかけを作ることが狙いです。2025年は延べ19校、576名の学生に向け、出前授業を行っています。

- 出前授業の実施
- 職場体験の受け入れ
- マイコミュニティフォーラムで知り合った若者への教育
- 新たな教育支援手法（オンライン出前授業 等）の研究

主な活動実績

実施日	地域	概要
2025/1/20	東京	出前授業 小田原支援学校高等部1・2年生（大井分教室）
2025/4/7	愛知	出前授業 名城大学薬学部
2025/4/10	愛知	出前授業 名城大学薬学部
2025/4/21	愛知	出前授業 名城大学薬学部
2025/4/24	愛知	出前授業 名城大学薬学部
2025/5/14	愛知	出前授業 東邦大学
2025/6/6	愛知	出前授業 扇台中学校（名古屋市キャリア教育プログラム）
2026/6/11	福岡	出前授業 第一学院高等学校博多キャンパス
2025/6/13	愛知	出前授業 扇台中学校（名古屋市キャリア教育プログラム）
2025/6/29	愛知	介拓奨学生プログラム 黄柳野高校
2025/7/9	愛知	出前授業 私立誉高校
2025/7/16	愛知	出前授業 愛知総合工科高等学校

2025/7/20	愛知	愛知サマーセミナー「高卒キャリア最強説」 (講師：一般社団法人アスバシ代表理事 毛受芳高 氏)
2025/9/3	東京	出前授業 東京都立多摩工科高等学校 3年生
2025/9/17	愛知	出前授業 扇台中学校 (名古屋市キャリア教育プログラム)
2025/9/24	愛知	出前授業 扇台中学校 (名古屋市キャリア教育プログラム)
2025/10/16	東京	出前授業 神奈川工科大学 2年生
2025/10/29	福岡	ジョブ tavi 学校法人沖学園 隆徳館中学
2025/11/4	愛知	小学生向けキャリア教育プログラム ミライトラベル DAY への参加
2025/11/20	福島	出前授業 東北動物看護学院 2年生

会員交流委員会

会員活動の基盤となる王道経営。その考え方を学び、経営者や企業の正しい在り方を身につける「在り方」勉強会の普及を図る委員会です。また、各支部定例会を通じて会員相互の交流（親睦・ビジネス）を促すとともに、全国各地の地域グループとの交流会も開催しています。

- ・王道経営の学び
- ・「在り方」「やり方」勉強会
- ・魅力ある定例会の企画／運営
- ・新規会員の勧誘／教育
- ・会員企業の魅力発掘／発信
- ・会員交流



主な活動実績

実施日	地域	概要
2025/1/7	福島	ぼくらのビジョンミーティング (在り方面接)
2025/1/7	東京	幹部会議
2025/1/8	東京	定例会・本質勉強会
2025/1/9	福島	三役会
2025/1/14	愛知	役員会
2025/1/21	本部	執行責任者会議
2025/1/21	東京	定例会・本質勉強会
2025/1/24	福島	定例会
2025/1/27	福岡	役員会・定例会
2025/2/3	福島	ぼくらのビジョンミーティング (在り方面接)
2025/2/4	福島	ぼくらのビジョンミーティング (在り方面接)

2025/2/6	福島	三役会
2025/2/12	全国	PICC 社員向け合同勉強会（第5回）「マネジメント」
2025/2/18	本部	執行責任者会議
2025/2/20	全国	No.2 育成研修会（第3回）「No.2の情報収集と発信 内と外」
2025/3/1	福岡	やり方塾
2025/3/3	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/3/6	福島	三役会
2025/3/17	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/3/18	西日本	定例会
2025/3/24	福岡	役員会
2025/3/28	福島	定例会・安心して学べる共有講座「社員教育&財務」
2025/3/31	広島	役員会
2025/4/3	福島	三役会
2025/4/5	福岡	やり方塾・お花見
2025/4/7	愛知	役員会
2025/4/8	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/4/15	本部	執行責任者会議
2025/4/15	東京	定例会「中小企業のテレビを活かしたマーケティング」 （講師：千葉テレビ放送 プロデューサー 大林健太郎 氏）
2025/4/15	西日本	定例会
2025/4/16	広島	役員会 社会人・経営者のための「介護現場の現状実態と現場視察」
2025/4/24	愛知	役員会
2025/4/25	福島	定例会「経営者のためのタイムマネジメント」
2025/4/28	福岡	役員会・定例会
2025/5/1	福島	三役会
2025/5/10	福岡	やり方塾
2025/5/12	広島	会員交流ゴルフコンペ
2025/5/17	福岡	在り方塾①「決断」「CRM」「BOP」「成功者に共通する8つの法則」
2025/5/22	本部	執行責任者会議
2025/5/22	広島	定例会
2025/5/23	福島	定例会「経営者のためのタイムマネジメント」
2025/5/24	福岡	在り方塾②「大久保秀夫流 18 の実践項目」 「成功する経営者になる為に必要な 25 の思考と行動」
2025/5/27	東京	定例会
2025/6/4	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/6/5	福島	三役会
2025/6/17	本部	執行責任者会議
2025/6/17	東京	定例会 「正しい税務処理について」（講師：仙波税理士事務所）
2025/6/23	福岡	役員会・定例会

2025/6/27	福島	定例会「”伝え方”より”伝わり方” 相手に合わせた対話のヒントを探ろう」
2025/7/2	福岡	やり方塾
2025/7/3	福島	三役会
2025/7/9	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/7/15	東京	定例会 ～PICC 経営者座談会～「地球温暖化と経営」
2025/7/17	福岡	筑陽学園中学校 イキイキ社会人インタビュー授業
2025/7/28	福岡	暑気払い 会員交流 BBQ
2025/8/2	福岡	やり方塾
2025/8/4	愛知	役員会
2025/8/6	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/8/7	福島	三役会
2025/8/19	本部	執行責任者会議
2025/8/19	東京	暑気払い
2025/8/22	福島	定例会「”伝え方”より”伝わり方” 相手に合わせた対話のヒントを探ろう」
2025/8/25	広島	定例会
2025/8/25	福岡	役員会・定例会「事業承継について」 （講師：アップスマイル税理士法人 代表社員税理士 辻本聡 氏）
2025/8/30	福岡	在り方塾 ショートバージョン
2025/9/4	福島	三役会
2025/9/6	福岡	やり方塾
2025/9/16	本部	執行責任者会議
2025/9/16	東京	定例会「人口増加と経営」
2025/9/16	西日本	定例会
2025/9/22	広島	定例会
2025/9/26	福島	定例会「中期、長期事業計画の立て方」
2025/9/29	福岡	役員会・定例会「AIの現状、これからについて」
2025/10/4	福岡	やり方塾
2025/10/7	福島	三役会
2025/10/8	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/10/21	本部	執行責任者会議
2025/10/21	東京	定例会「企業の沖縄進出メリット」（講師：沖縄県東京事務所 伊藤 氏）
2025/10/22	西日本	定例会
2025/10/24	福島	みんなの定例会「経営戦略の立て方の基礎」 （講師：株式会社せいふうケア 代表取締役 太田大 氏）
2025/10/31	福島	定例会
2025/11/1	福岡	やり方塾
2025/11/6	福島	三役会
2025/11/7	西日本	定例会
2025/11/8	福岡	在り方塾①「決断」「CRM」「BOP」「成功者に共通する8つの法則」

2025/11/15	福岡	在り方塾②「大久保秀夫流 18 の実践項目」 「成功する経営者になる為に必要な 25 の思考と行動」
2025/11/17	広島	定例会
2025/11/18	本部	執行責任者会議
2025/11/20	福島	企業訪問 株式会社バイタルネット
2025/11/25	福岡	役員会・定例会
2025/11/28	福島	みんなの定例会「バックオフィスについての座談会」
2025/12/6	福島	忘年会
2025/12/7	福岡	やり方塾
2025/12/9	福島	ぼくらのビジョンミーティング（在り方面接）
2025/12/11	福島	三役会
2025/12/16	本部	執行責任者会議
2025/12/16	東京	忘年会
2025/12/17	福島	企業訪問 株式会社共進
2025/12/17	西日本	定例会
2025/12/25	福岡	定例会・総会

8. U25会員・若者向け活動

U25 会員は、25 歳未満の若者が本会の活動に参加できるよう設けられた会員制度です。各地で開催するマイコミュニティフォーラムは、基本的に年 1 回だけの開催となるため、その場限りの気付きで終わってしまわないよう、本会の活動に参加してもらいながら継続的にフォローできるよう 2018 年から設けました。

本会が若者育成に取り組む理由は、これから地球の未来を担う若者に「王道経営」で大切にしている理念を伝え、次世代にも継承してもらうためです。

本会会員企業は、王道経営を学び、それを自社で実践し、社会に広げていくことを使命としています。その対象は、一番はまだ王道経営を知らない、実践できていない経営者ですが、本当の意味で王道経営を広げるには、企業を選ぶ側、つまり自身が働く企業を選定する学生や商品・サービスを選ぶ顧客にもこの考え方を知ってもらい、王道経営的視点で企業を選別してもらう次世代の層を厚くしていくことが、将来的にも重要であると考えています。

若者に本会の活動に参加してもらうことで、これから社会に出ていく前に知っておくべき、気付いておくべき考え方や視座を提供し、社会で自信をもって活躍できる人材を輩出することを目指しています。

U25・若者向けの活動

実施日	地域	概要
2025/3/25	愛知	PICC×東海学生アワード企画 “AMUSICLET Night”
2025/3/25	福岡	U25 懇親会
2025/5/19	愛知	東海学生 AWARD8 期始動親会
2025/6/28	愛知	東海学生 AWARD 実行委員合宿
2025/8/19	愛知	東海学生アワード 8 期 参加者説明会
2025/9/7	愛知	東海学生 AWARD All AWARD Kickoff
2025/10/18	福岡	福岡大学ビジネスプランコンテスト応援
2025/10/25	福島	ほくらの音楽祭
2025/11/23	愛知	東海学生 AWARD
2025/12/14	愛知	東海学生アフターAWARD

※前述の活動報告と一部重複あり

2016 年 12 月から始めた「マイコミュニティフォーラム」は、コロナ禍を契機に終了した地域もあるものの、福島・愛知では継続開催しています。

2025 年 12 月までに全国 7 都市で 31 回開催し、これまで合計で 5,916 名の方に参加いただいております。

マイコミュニティフォーラムの目的は、若者の地域に対する意識のスイッチを“オフ”

から“オン”にすること。自分たちの力で「国や未来は変えることができるんだ」ということに気付いてもらうため、まずは自分が住んでいる地域でどんな取り組みが行われているのか目を向けてもらい、私の社会のために何かできること、参加してみたいと思えることを見つけてもらうためのヒントを提供したい、そんな思いで企画・運営しております。

各地域の本会会員が中心となり、近隣の学校、学生、経営者、NPO、企業、議員等と協力しながら、様々なテーマ・プログラムを提供してまいりました。

【2025年の開催実績】

① 第30回マイコミュニティフォーラム in 福島

2025年10月25日(土) 11:00~16:00

場所：なかまち夢通り

テーマ：ぼくらの音楽祭 in なかまち夢通り ~スタンドアップ! もっとピュアになろう!~

参加者：231名



② 第31回マイコミュニティフォーラム in 愛知

2025年11月23日(日) 13:00~18:30

場所：東別院会館ホール3F

テーマ：東海学生AWARD 2025 ~あなたの“カクシン”が変革を起こす~

参加者：444人



9. 2026年度のテーマ

「本質道場」の学びを次のステージへと昇華させる

2026年度は『「本質道場」の学びを次のステージへと昇華させる』を最上位目的とします。この2年間でベースをつくった「本質道場」を、まだ参加していない本会会員はもちろん、外部にも広げていくための活動にシフトしていく計画です。これを実現していくための重点課題として、以下3点を重点課題として取り組んでまいります。

- ① 「本質道場」の運営を大久保会長から独立し、全国で開催する
- ② 「本質道場」を非会員にも伝え、次世代の会員を集う
- ③ 「本質道場」の学びの実践を仲間同士で共有し、アドバイスし合う

王道経営推進協議会 2025年度活動報告書

2026年4月10日 発行

著者 一般社団法人王道経営推進協議会

発行元 一般社団法人王道経営推進協議会 組織運営本部事務局

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 14階

電話 03-6826-1234

本書の内容の一部または全部を無断複写、複製、転載することを禁じます。